



東北大学グローバルCOE

第4回

Network Medicine特論

講義のお知らせ

田宮 元 博士

(山形大学医学部・先端分子疫学研究所・教授)

ゲノムコホート研究のための 集団遺伝学・遺伝統計学

日時: 7月2日(月)17時30分

場所: 医学部5号館201号室

ゲノムコホート研究を理解し、デザインし、得られた結果を解釈するためには、疫学・統計学や分子生物学に加えて、遺伝学、特に集団遺伝学と遺伝統計学の枠組みが有効である。ヒトゲノム中に維持される遺伝的バリエーションの構成を理解することは、疾患発症に寄与する遺伝子を同定する上での前提であるが、これは集団遺伝学を通して可能になる。一方で、集団遺伝学の理論は、疾患発症が遺伝成分だけではなく、環境成分やそれとの相互作用によっても起こりうると予測しており、ゲノムコホート研究の要請に合致する。また、ゲノムコホート研究を通して得られた大規模データは、典型的な小標本高次元の特徴を持ち、高速計算機分野への適用に加え、遺伝統計学的なチャレンジをも提供している。本講義では、ゲノムコホート研究について、このような集団遺伝学・遺伝統計学からの側面を講義する。

Network Medicine特論では、最新のNetwork Medicine研究を紹介しています。最新の医学研究を理解するために必要な知識を多くの学生・教員間で共有したいと思います。

Network Medicine特論は医学履修課程の大学院講義です。受講学生は履修簿を持参し、修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。皆さん是非ご参加ください。

拠点リーダー 岡 芳知 / 担当 中山 啓子(内線8227)